



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

医療を大きく変える可能性を秘めたAI

新年明けましておめでとうございます。皆さん、良いお正月を迎えられたでしょうか。

新年早々病気の話をするのも無粋なので、今回は将来の医療はどうなっていくのか、予測してみたいと思います。

今後の医療はAI（人工知能）、ロボット技術、インターネットによって大きく変化すると思われます。AIはディープラーニング（深層学習）によって、人以上に学習することが可能となりました。

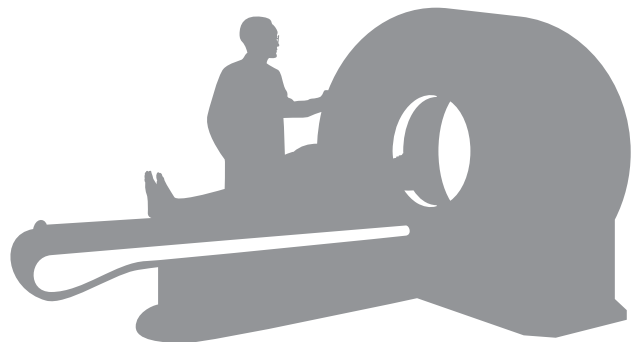
人知を超えたAIも存在。将来、自動診断が実現するかも

今、AIは自動車の自動運転や、将棋やチェスでコンピュータが人よりも強くなり注目を浴びています。医療の分野でもCT、MRI、超音波などの画像診断や病理診断はAIが診断することになると思います。

AIは一人の放射線科医や病理医が一生懸命勉強して得る知識の何万倍あるいは何百万倍ものデータを短時間で学習し、診断能力を向上させます。10年ぐらいで、画像診断、病理診断の多くは自動診断になると思われます。

医師や看護師の役割をするAIやロボット

さらに進めば、通常の医師の診察もAIに取って代わられるかもしれません。患者さんが症状をコ



と思います。高齢者に対しては自宅で小型の機器が自動測定した血圧、脈拍、酸素濃度など多くの生体情報をネット経由で病院に転送し、自動解析して異常があれば医師に伝達されます。

医師はテレビ電話で診察をし、軽症であれば入院せずに自宅でそのまま治療もできるようなようになります。AIやロボット技術、インターネットが進歩すれば、患者一人一人にあった個別化医療が進むものと期待されます。

医療の発展に「人の役割」を必要とするかどうかは、あなた次第

そのころには医師は何をするようになるのか、それはまだわかりません。しばらくは医師がこれらを利用しながら、最善の医療を模索していくものと思います。

患者さんが医師と人間的な関係を求めるならば医師の役割はまだまだ続くと思います。少なくとも患者さんにとってこのような医療の発展は望ましいことではないでしょうか。

医療環境を大きく変化させるインターネット

また、インターネットの発展は在宅医療を大きく変化させる

